

セキュリティ技術基礎【アーカイブ視聴】（4121013）

こちらのお申込は【アーカイブ視聴】となります

企業の情報資産を保有・管理しているIT部門は、情報セキュリティの脅威と対策を理解する必要があります。情報セキュリティの脅威と対策を本質的に理解するためには、その基礎となる技術要素を理解する必要があります。本講座では、IT担当者が直面する情報セキュリティ対策に関する基本的概念から、情報を保有する脅威と求められる対策（人的・技術的・物理的）における技術的な基礎知識を習得します。

開催日時	2021年8月25日(水) 2021年8月26日(木) アーカイブ視聴期間：8/30-9/10 ※8/25-26開催の録画視聴となります
カテゴリー	共通業務（契約管理、BCP、コンプライアンス、人的資産管理、人材育成、資産管理）・セキュリティ・システム監査 専門スキル
講師	安田良明 氏 （株式会社ラック サイバーセキュリティサービス統括部 デジタルペネテストサービス部 副部長） 1996 年 情報通信メーカーへ入社。システムズエンジニアとして、ナショナルセキュリティ分野に関する情報システム構築、セキュリティオペレーションセンター構築に従事する傍ら、 2005 年から2007 年に掛けて、米国の情報保証技術の調査研究を行う。 2009 年 株式会社ラックに入社。サイバーリスク総合研究所の研究者として、研究成果の製品化、特定用途システムへの転用提案や情報セキュリティ教育、人材育成などを担当。 2010 年 ナショナルセキュリティセンターを設立し、初代センター長として就任。社会システムが期待する情報保証技術の調査研究を行うと共に、国家の安全保障を担うシステムに対し、自社の研究成果を提供し、社会セキュリティの確保に貢献する活動を行う。 2011 年 内閣官房情報セキュリティセンターセンター員として、情報セキュリティ対策の推進に関する専門的、技術的な事項についての支援業務を行う。 2013 年 S&J株式会社へ入社。 組織の業務とITの状況を可視化し、トップダウンのガバナンスコンサルタントを行う。インシデントが発生したお客様に対して、インシデントレスポンスやデジタルフォレンジックを行い、ボトムアップからの支援も担当。 2019 年 株式会社ラックに入社。 SDGs 達成に必要な社会環境を予測し、産業システム全般に必要なセキュリティソリューションの企画開発を行う。
参加費	J U A S 会員/ITC：67,400円 一般：85,800円（1名様あたり 消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数2枚】
会場	オンライン配信（指定会場はありません）
対象	情報システムの企画、開発、運用に従事している、あるいは従事予定の方。 「セキュリティ入門」の受講もしくは同等の知識を有していること。 初級
開催形式	オンライン アーカイブ視聴
定員	20名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
特記	*お申込み後マイページより受講票をダウンロードして内容をご確認ください。 *キャンセル規定は、セミナー開催日が起点日となります。視聴期間とは異なりますのでご注意ください。
ITCA認定番号	ITCC-CPJU9339
ITCA認定時間	12

主な内容

■受講形態

【選択可能】

A. 会場にてご参加：[お申込みは>>こちら](#)

B. 講義動画アーカイブ視聴

※本ページは【アーカイブ視聴】のお申込ページです。

※参加時のご注意について、本ページ下部にご案内いたします。お申込の前に必ずご確認ください。

■テキスト

録画配信までに発送（お申込時に送付先の入力をお願いします）

～もう知らないでは許されない！セキュリティ技術を基礎から学ぼう～

企業の情報資産を保有・管理しているIT部門は、情報セキュリティの脅威と対策を理解する必要があります。情報セキュリティの脅威と対策を本質的に理解するためには、その基礎となる技術要素を理解する必要があります。

本講座では、IT担当者が直面する情報セキュリティ対策に関する基本的概念から、情報を保有する脅威と求められる対策（人的・技術的・物理的）における技術的な基礎知識を習得します。

第1章 セキュリティ基礎

1. 情報セキュリティ
2. 情報資産を守る
3. 情報セキュリティマネジメントシステム
4. リスクアセスメント

第2章 コンプライアンスと運用セキュリティ

1. 情報セキュリティ対策
2. 情報セキュリティの運用
3. セキュリティ要素技術

第3章 脅威と脆弱性

1. 攻撃の種類と特徴
2. アプリケーション攻撃の種類と特徴
3. 無線攻撃の種類と特徴
4. ソーシャル・エンジニアリング攻撃の種類と特徴

第4章 ネットワークセキュリティ

1. ネットワーク機器と技術におけるセキュリティの機能と目的
2. ネットワークサービスとポート番号
3. セキュリティに関わるプロトコル

第5章 アプリケーション、データ、ホスティングセキュリティ

1. マルウェアの種類と特徴
2. ホストセキュリティの確立

第6章 アクセスコントロール、認証マネジメント

1. 認証サービスの目的と機能
2. 認証、認可、アクセスコントロール
3. アカウント管理を行う際のセキュリティコントロール

第7章 暗号化

1. 暗号化
2. 暗号アルゴリズム
3. 暗号の種類

<<アーカイブ視聴ご受講に際してのご注意>>

- ・【アーカイブ視聴】は、講義動画の視聴のみとなります。
- ・アーカイブ視聴期間内に、ご自身のマイページから【動画視聴】ボタンよりご視聴ください。
- ・視聴期間内は、何度でもご視聴いただけます。
- ・申込後に視聴環境を確認するためのテスト動画がございますので、ご確認をお願いします。
- ・ご受講に必要なPC等のハードウェアや通信環境は、ご受講者様ご自身でご用意ください。
- ・動画や画像、音声の撮影、録画、録音は一切禁止とさせていただきます。
- ・視聴期間の延長や変更、講義に関する質疑応答、はお受けできませんので、あらかじめご了承ください。

<キャンセル規定>

セミナー開催日当日以降 … 参加費の全額

※受講権利チケット利用にてお申し込みの場合 参加費の全額（必要枚数）

※セミナー開催日が起点日となります。視聴期間とは異なりますのでご注意ください。

※動画視聴前であってもキャンセル料が発生しますので、ご注意ください。